

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
平成30年度 7・8月号
平成30年7月21日 発行



1学期も残すところ1週間となりました。1学期は、始業式、入学式に始まり、避難訓練や遠足、林間・臨海学校などたくさんの行事を実施し、大変充実した学期だったと思います。4月に入学した1年生も今ではすっかり小学生らしくなり、マナーよく通学しています。本校児童の一人ひとりが精神的にも身体的にも大きく成長した1学期だったと思います。これまでのお子様の成長ぶりについて、家族で話し合い、ぜひとも褒めてやってください。

さて、間近に夏休みを控えているとはいえ猛暑の中で、児童達は元気に学校生活を送り、1学期のまとめに励んでいます。夏休み前のこの時期に気分が緩んでしまうと夏休みもその気分を引きずってしまいかねません。今こそしっかり1学期のまとめをして、自分なりの課題を発見し、長い休みの過ごし方を意識しながら、一層の規則正しい生活を送ることが大切だと思います。何より児童達自身が自覚と問題意識をもって夏休みを過ごすことを期待しています。今から夏休みの目標や計画についてご家庭でもご指導くださるようお願いいたします。

7～9月の学校行事

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
7月	21	土	入試説明会		8月	24	金	5年登校日	
	22	日				25	土	始業式	
	23	月				26	日		
	24	火	育友会実行委員会			27	月	午	5年琵琶湖フローティングスクール 5年8/24の振替休日
	25	水				28	火	前	
	26	木				29	水	授	
	27	金				30	木	業	
	28	土	5年対象中学部見学会			31	金	休業日	
	29	日			9月	1	土	夏休み作品展	
	30	月				2	日		
31	火	終業式		3		月			
8月	1	水	個別面談			4	火		
	2	木	個別面談			5	水		
	3	金				6	木		
	4	土				7	金		
	5	日				8	土	週休日	
	6	月				9	日		
	7	火				10	月		
	8	水				11	火		

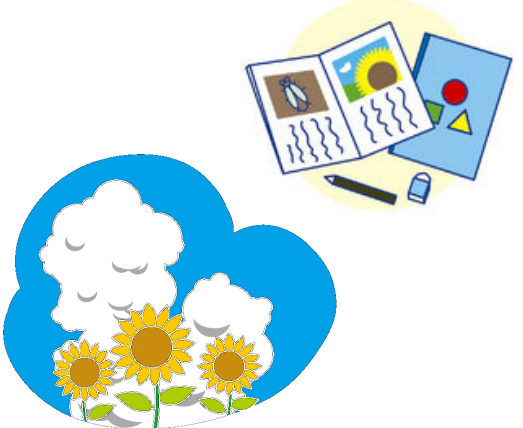
※閉校期間中（8月9日～23日）は教員も夏休みをいただきます。
この間、学校には宿日直の教員しかいませんが、何かあればすぐに学校へ連絡してください。

夏休みは子どもが成長するチャンスです

夏休みは、保護者の皆さんにとって大変な日々だと思いますが、児童達が大きく成長する大切な期間でもあります。夏休みにしかできない体験や家の手伝いなどをしっかりさせて、「生きる力」を養ってやってください。

夏休みを上手に過ごす10のポイント

- ① 規則正しい生活を送る
- ② 具体的な目標を決め、それをやり遂げる
- ③ 夏休み全体と毎日の計画を立てる
- ④ 自分からすすんで学習に取り組む
- ⑤ 毎日、家のお手伝いをする
- ⑥ 読書の習慣をつける
- ⑦ 普段できない体験をする
- ⑧ 体力作りをする
- ⑨ 自分のことは自分でする習慣をつける
- ⑩ 安全に気をつける



奈良県「1日こども知事」に本校児童が選ばれました

8月3日（金曜日）、奈良県庁で、県内在学の10人の小学5・6年生が知事の仕事を経験する「1日こども知事」が開催されます。この取り組みは、こどもたちに県政に対する興味や奈良への愛着を深めてもらうとともに、次代を担うこどもたちの純粋な夢を育むことを目的として奈良県が毎年実施しています。今年は、本校5年2組の林 澄伶（はやし すみれ）さんがそのメンバーに選ばれました。今回、林さんが応募した作文を以下に掲載します。

知事になったら役に立ちたい。」

5年2組 林 澄伶

私は知事になったらお年寄り活動をしたいです。近年一人きりで一日中だれとも話をせずどこに過ぐし、最期をむかえるお年寄りが増えているとテレビや新聞で知りました。実は私も祖父を亡くし、祖母が一人で生活するのがこんななので一緒にくらししています。そのように家族でくらすお年寄りばかりではないと思います。さびしく過ぐしているお年寄りもいると考えました。私もいつかは年老いていきます。

何か出来ることはないのかな？」

いろいろな考えました。まず、自分がお年寄りになったことを想像し、一日中何もしなかつたらボケてしまうことを考え、月に何度か地域で会を作り、一人ずつ話すことがいいと思いました。何度か会う内に気の合う方がきつて出来ます。そんな人達を集め、シニアスを作り、毎月五、三十個のいきいきプロジェクトを各地域で開きたいように思っています。その中ではまだまだがんばれるお年寄りの方に参加してもらい、朝からばんまで何か出来る事をしてもらいます。内しよくておやつ代をかせぐ人、野菜をつくりみんなのごはんの材料をつくる人、料理ずきの人はそれをいかして料理する人、本を読む人、あみものをする人、何でもいいです。人のためにすることでもまた自分もがんばろうと思えるのです。もちろん私もそれらに参加し、意見を聞き、いっしょに楽しみます。知事みずから楽しめばそれらについてきてくれる人はふえます。くらしやすくみんながいきいきできる町に私はしたいです。奈良県がもじかがやいた住みやすい町に私はしたいです。

ナラ・シェイクアウト（奈良県いっせい地震行動訓練）を行いました

ここ数年、地震や異常気象の影響による大災害が日本各地で起こっています。

一昨年の４月に熊本地震が起こり、昨年の７月には福岡、大分両県を中心とする九州北部豪雨が発生し、今なお被災者の方々は大変な生活を強いられています。

さらに今年は、６月１８日に大阪北部地震が起こり、今なお避難所で生活しておられる方々もいらっしゃいます。また、７月６日の西日本豪雨は２００人以上の方が亡くなるという大災害で、西日本の各被災地では今なお復興の目途が立っていないのが現状です。被災された方々に一日も早く平穏な日常が戻ることを祈らずにはおられません。

このような自然災害は決して他人事ではありません。いつ自分達の身に降りかかってもおかしくありません。災害は、いつかは起こるものと考えて、日頃から備えておくことが大切だとしみじみと感じます。

そこで、児童生徒の防災意識を少しでも高めたいと考え、今年も小学部・中学部・高等部の全学で「ナラ・シェイクアウト（奈良県いっせい地震行動訓練）」に参加しました。奈良県では７月９日、県下一斉に実施しましたが、本校は学校行事の都合もあり、７月１０日（火）１０時３０分の全校一斉放送を合図に児童生徒が机の下に身を隠したり、鞆で頭を守ったりするという避難訓練を行いました。同時に教室の備蓄品を児童生徒に配付する訓練も実施しました。今後とも機会あるごとに児童生徒の防災意識を高めるよう努めて参ります。ご家庭でも、防災について、しっかり話し合っていたいただければ有り難く存じます。



林間・臨海学校に行ってきました

今年の林間・臨海学校も無事に終えることができました。京都府や岡山県には西日本豪雨で被災された地域もある中、本校児童が現地で臨海・林間学校を実施することについては随分逡巡しました。けれども、現地施設の方々からは「準備万端調べて待っています」との温かいお言葉を頂戴しましたし、道路状況なども十分に調べたところ、何の障害もないことが判明しましたので、実施する決断をいたしました。

保護者の皆様には何かとご心配をおかけしたことで存じますが、お陰を持ちまして所期の目的は達成できました。児童たちは宿泊を伴う活動を通して、仲間と協力して、最後までやり遂げることの大切さを学ぶことができたと思います。

被災地で難儀をしておられる方々に思いを致し、私たちを迎え入れてくださった施設の方々への感謝の気持ち忘れずに児童たちが頑張り抜いてくれたことを嬉しく思っています。



１年・２年 国立曽爾青少年自然の家

児童会の呼びかけで集まった義援金は以下の通りです。

３・４年生：４１，９８５円 ５・６年生：８０，６２６円

３・４年生分はすでに宮津市に寄付しました。５・６年生分は来週早々に、倉敷市に寄付する予定です。ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。



３年・４年 京都府立青少年海洋センター マリーニアピア



５年・６年 国立吉備青少年自然の家